

2022年度全日本吹奏楽コンクール 課題曲 Trombone ワンポイント・アドバイス

吹部
Navi

I やまがたふあんたじい～吹奏楽のための～

作曲：杉浦 邦弘

全体を通して細かくアーティキュレーションの指示がされています。スタッカートを演奏するときに音を短く切りすぎると音程が失われないように注意し演奏してみましょう。同様に音量の大きい音でアクセントの指示がある場合も勢いだけでなくハーモニーやユニゾンを楽しむながら美しい演奏を目指してみてください。

- 34小節目と45小節目の16分音符はアーティキュレーションの指示が異なりますので、しっかりと吹き分けましょう。
- 35小節目からのメロディーは厚みのある豊かな音色で演奏しましょう。また、テヌートで演奏するときはスライドを素早く正確に動かしてポルタメントが入らないように注意しましょう。

II マーチ「ブルー・スプリング」

作曲：鈴木 雅史

この曲でのトロンボーンは和音を作りながら裏打ちなどのリズム伴奏が多く出てきます。ハーモニーの確認は部分ごとに取り出してどのようなハーモニーを作っているのか、また、ハーモニーが合っているときの響きを感じるなどパートで確認してみましょう。裏打ちが続くと段々遅れがちになってしまうことも多いと思います…そのようなときはメロディーのフレーズに注目してみましょう！どんな伴奏だったらメロディーが歌いやすいか考えてみるとテンポや上手な流れを作ることができると思います。

Trio の ff はしっかりと大きい音量から吹き始めて[F] の mp までデクレッシェンドして音量の差をつけましょう。

III ジェネシス

作曲：鈴木 英史

この曲は豊かでブレンド感のある美しい音色で演奏することを目指しましょう。曲全体は落ち着いたテンポですが長い音符の推進力が失われぬように細かくカウントすることや音の処理などに注意が必要です。また、その逆で細かい音符が続くところでは走ってしまわないように正しいリズム、テンポで演奏するように注意しましょう。

- [A], [D], [E], [J] で16分音符を演奏するときはスライディングの素早さと正確さが必要になります。ゆっくりのテンポから練習して音程感は正しいかなど確認してみましょう。特に5～1ポジションなど離れたポジションに動かす際は5ポジション（この場合 G_b）の音程感や動きに注意が必要です。

IV サークスハットマーチ

作曲：奥本 伴在

テンポの速いマーチですので冒頭のファンファーレはスピード感のある音で華やかに演奏しましょう。細かい音符にも息をしっかり吹き込み、発音にも気を付けながらはっきりと音の粒が聞こえているか確認してみてください。

- メロディー部分と伴奏部分をしっかりと吹き分けてメリハリのある演奏を心掛けましょう。（例えば、15～18小節のメロディーと19,20小節の伴奏部分の音量の差など）
- 59, 60小節目は少し高い音から下降してくるので、高音はお腹でしっかりと支えて速い息を吹き込んで鳴らしてみてください。また、下降形ですが3拍目のアクセントを意識して演奏しましょう。
- [G] からは直管楽器らしい良い音でのびのびと演奏してみましょう。

V 憂いの記憶－吹奏楽の為の

作曲：前川 保

冒頭からグリッサンドやミュートなど・・・盛りだくさんの曲ですが、グリッサンドの指示があるところではスライディングのスピード感を揃えるなど工夫してみましょう。3パートで音を出す拍がずれることが曲の前半に多く見られますので、拍を数えることはもちろんですがスコアを有効に活用しながらパートで合わせた時のダイナミクスの聞こえ方などにも注意しながら確認してみてください。（例えば、[A]～[B]の3パートでのグリッサンドの掛け合いなど）音幅の広い跳躍もありますので日々の練習でインターバル練習を取り入れるなどしてみましょう。

- 幅広く強弱の指示がされていますので、それぞれの音量の差をしっかりと吹き分けられるように各強弱、音量の確認してみてください。